青年団、各種団体
在郷軍人団、並町内会及ビ一般市民諸君ニ檄ス!!

亀戸六ノ八〇在
日ノ出ゴム工業所
争議団事務局
[illegible]
二月十六日

所謂国家非常時の折柄、ストライキ騒ぎは如何なる事情あるにせよ一応中止を希望せられ、且つ今迄の常識並相手方の逆宣伝のために、労働者側が悪いとか、或は赤いからストライキをする位に、考へて私共の正義観を無慈悲に踏みにじる気持ちを持たれるであらうことを甚だ残念と思ひまして、茲に各位に一書を呈し貴下の正義観に訴へる次第です。

近時、満洲問題を中心として内外多事危急存亡の折のため、世を挙げて日本挙国一致を高唱し、日本産業立国の確立のため日本労資協力し、また軍部へ対して献金運動をし、我等も共にして居る。之れは、全く日本国民全体の幸福と云ふことがそのために来るであらうことが前提としてのことである。然るに我等の此の燃ゆるが如き愛国心を逆に利用して、私服を肥やすに及んだるものがある、それは實に自己のために、国もなく民もなく ただこれ小数のもの、私服をのみ考へてる、資本家其下である。

試みに、インフレによる大戦は、カロセ相場暴落による、または軍需品工場等の如き各紡績会社の如き、化学セメ品工場の如き、實に莫大なる利益をあげつゝあるにかゝわらず日本国家非常時だから、安くても働らけ!無理でも働らけ!と言つて今日では、工場法はありながら法規を違反して居る会社工場は一軒もない程それ程労働者を使ふに醜を極めて居る。

挙国一致と云ひ、労資協力とは、労働者側が真面目に考へて、資本家は斯の如く之れを無視し、ただ自己の利のために、国民の赤誠を利用して居るのである。

故に我等は単に自分達の利益からストライキするのでなく、實に斯かる公憤を強く感じてこそ何者の圧迫に恐れざる勇気と決意をもつて起ち上るのであります。

何卒、故に別紙要求項目並経過報告等々を御読み下されて正しき貴下の良心にもとづいて、我等の行動に深き御理解と御支援あらんことを御願ひいたします。

附記 今日全日々勤労大衆はインフレによる物価騰貴と、給料の少なき或は仕事のなきため悩んで居ります。貴下の生活の御経験より深く御思考下さいますように。